

VII 3. 外部ファイル取込レイアウト（調定・調定兼収入取込用）

No	項目名	Type	桁数	必須	データ内容	データチェック	メッセージ
1	債務者コード	数値	12	○	自由入力債務者の場合は"0"を入力	未入力 桁数≤12	債務者コードが不正です。
2	債務者名	文字	30	○	全角:30文字まで ※自由入力債務者の場合は必須 ※登録済み債務者の場合は入力不要	(債務者コード=0 時のみ) 未入力 桁数≤30文字	債権者名が未入力です。 債権者名が全角30文字を超えています。
3	代表者名	文字	30		全角:30文字まで ※登録済み債務者の場合は入力不要	(債務者コード=0 時のみ) 桁数≤30文字	代表者名が全角30文字を超えています。
4	支払方法	数値	1	—	入力不要		
5	口座区分	数値	3	—	入力不要		
6	金額	数値	13	○	カンマ編集なし、0円入力可	未入力 桁数≤13	金額が不正です。
7	課税区分	数値	1	○	0…内税、1…外税、2…非課税、3…不課税 ※課税区分が内税・外税の場合、最新の消費税率を自動設定します。	未入力 入力値	課税区分が不正です。
8	消費税額	数値	13		カンマ編集なし、0円入力可、金額0円でも1円以上の入力可 ※課税区分が内税・外税の場合のみ必要	(課税区分=0,1 時のみ) 未入力 桁数≤13	消費税が不正です。
9	社会保険料等	数値	13	—	入力不要		
10	所得税	数値	13	—	入力不要		
11	控除3	数値	13	—	入力不要		
12	控除4	数値	13	—	入力不要		
13	控除5	数値	13	—	入力不要		
14	振込先金融機関コード	数値	7	—	入力不要		
15	振込先口座種別	数値	1	—	入力不要		
16	振込先口座番号	文字	7	—	入力不要		
17	振込先口座名義人漢字	文字	30	—	入力不要		
18	振込先口座名義人カナ	文字	30	—	入力不要		
19	郵便番号	文字	8		半角:ハイフン含む8桁またはハイフン含まない7桁 ※登録済み債務者の場合は入力不要	(債務者コード=0 時のみ) 桁数≤8	郵便番号が7桁の数字ではありません。
20	住所	文字	60		全角:60文字まで ※登録済み債務者の場合は入力不要	(債務者コード=0 時のみ) 桁数≤60文字	住所が全角60文字を超えています。
21	通知書番号	文字	13		全・半角:13文字まで	桁数≤13文字	通知書番号が13文字を超えています。

①「必須」欄が“—”の項目は、データが入力されていても取り込みしません。

(2) CSVデータ作成時の留意点

①No.1「債務者コード」欄にシステム登録済の債務者コードを入力した場合は、債務者情報の入力は不要です。
以下の項目は「債権者登録」の内容から取得します。

No.2「債務者名」、No.3「代表者名」、No.19「郵便番号」、No.20「住所」

②No.1「債務者コード」等の数値項目は、最大桁数まで先頭を0で埋める必要はありません。

③No.2「債務者名」、No.3「代表者名」、No.20「住所」、No.21「通知書番号」等の文字項目は、最大桁数まで後方をスペースで埋める必要はありません。後方のスペースは削除してください。

④CSVデータは、最終列のNo.21「通知書番号」までカンマ区切りが必要です。例えば、No.8「消費税額」以降の項目が全て空欄の場合でも、最終列までカンマ区切りしてください。カンマ区切りがない場合、取り込み時に不正なデータとなりエラーになります。

※ExcelにてCSVファイルを開いて保存すると、データが存在する列より後ろの空欄項目のカンマ区切りが削除されてしまいます。その場合は、最終列のNo.21「通知書番号」欄に全角スペースを入力しておけば、そこまでデータがあると見なされ、最終列までカンマ区切りされたデータを作成できます。

(3) 処理フラグの設定

運用情報システムで、以下の処理フラグを設定します。

ライブラリ／処理フラグ／システム名：NE 公会計システム

フラグ番号	フラグ名
2148	調定決議 調定データ「CSV取込」使用区分
2149	調定兼収入 収入データ「CSV取込」使用区分
値	設定内容
0	実施しない
1	実施する